

高血圧内科（高血圧・内分泌内科）

1. 目的と特徴

寛容と忍耐、そして気配りの心を兼ね備えた豊かな人間性、幅広い見識により、社会に貢献できる医師を養成する。全身を診る能力を身につけた優れた内分泌代謝科・糖尿病領域専門医、甲状腺専門医、高血圧専門医の育成に努めるとともに国際的に通用する研究者の育成を目指している。日本内科学会内科専門医、日本専門医機構内分泌代謝科・糖尿病領域専門医、日本甲状腺学会専門医、甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医、日本動脈硬化学会専門医、日本高血圧学会高血圧専門医、妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダー資格、日本抗加齢医学会専門医、日本医師会認定産業医の取得が可能である。

2. 指導スタッフ

教授・基幹分野長 市原淳弘
准教授 森本 聡
講師 渡辺大輔、関 康史
助教 高野倫嘉、木村しほり、平田清貴、伊上優子

3. 研修施設

基幹施設：東京女子医科大学 高血圧内科(高血圧・内分泌内科)等

4. 研修カリキュラム

A：一般目標

思いやりの心と豊かな人間性、幅広い見識を備え、社会に貢献できる内科専門医、内分泌代謝科・糖尿病領域専門医、甲状腺専門医、動脈硬化専門医、高血圧専門医等の育成を目指す。そのために必要な内科全般、内分泌・甲状腺・動脈硬化・高血圧等に関連する内科臨床の知識・技術を修得する。

B：行動目標

- 1) 内科診療に必要な基礎知識を修得し、臨床に応用する。
- 2) 内科診療に必要な検査、手技を習熟し、臨床に応用する。
- 3) 患者、家族の訴えを真摯に聞き、共感の心を持ちながら問題解決にあたることができる。
- 4) 医療安全管理の大切さを理解し、常に実践できる。
- 5) 診療録、病歴要約を適切に記載する。
- 6) 医療チームの一員として上級医、指導医とコミュニケーションをとり診断、治療にあたる。
- 7) メディカルスタッフと良好な人間関係を築き、協力して患者さんの問題点を解決できる。
- 8)カンファレンスや学会への参加、文献の検索法の修得など、常に最新の医療情報を得るために必要な習慣を身に付ける。
- 9) 上記の点において他の後期臨床研修医や病棟実習医学生の指導にあたる。
- 10) 学会発表、発表内容を論文としてまとめるために必要な手法を学ぶ。
- 11) 日本内科学会内科専門医を取得する。さらに日本専門医機構内分泌代謝科・糖尿病領域専門医、日本甲状腺学会専門医、日本動脈硬化学会専門医、日本高血圧学会高血圧専門医等を取得する。

C：年次別研修スケジュールと研修内容概略

	研修場所	内 容
後期研修 1～3年次	病棟あるいは は出向病院	内分泌疾患診断法（内分泌負荷試験、下垂体・副腎画像診断の修得）、血管関連診断法（血管柔軟性評価、24時間血圧の評価等）、甲状腺・副甲状腺エコー・頸動脈の実際。3年次終了後に日本内科学会内科専門医の申請。
後期研修 4～5年次	病棟あるいは は出向病院	内分泌疾患及び高血圧症に対する診断法および治療方針の立て方の実際。病棟指導医として下級後期臨床研修医、病棟実習医学生の指導にあたる。研究成果のまとめ方の修得（学会発表、

		論文の書き方)。内分泌代謝科・糖尿病領域専門医、日本甲状腺学会専門医、高血圧専門医等の申請。
--	--	--

D：週間および年間予定

月曜日： 教室内研修・甲状腺エコー研修・研究発表会（8：30～9：00）

月曜日： 病棟長回診（15：00～）、甲状腺・副腎疾患症例検討会（17：00～18：00）

水曜日： 副腎静脈サンプリング術

木曜日： 教授回診（8：30～）、病例検討会（17：00～18：00）、
下垂体腫瘍疾患症例検討会（17：00～18：00）

金曜日： 甲状腺エコー研修・副腎静脈サンプリング術、
小児内分泌症例検討会（17：00～18：00）

臨床研究発表会：年2回（4月、10月）

各自それぞれの研究課題をもって臨床あるいは基礎研究を行い、国内および国際学会で発表し、英文論文を書ける実力を身に付けます。

上記以外の時間は病棟研修、検査（血管柔軟性評価検査、負荷試験、頸動脈エコーなど）を行う。

E：評価

病棟診療グループの指導医、研究グループのリーダー、メディカルスタッフより逐次形成的評価を受ける。評価内容は随時教授・基幹分野長に報告される。勤務態度及び診療態度、症例を掲示する際のまとめ方、病歴要約の内容と提出状況、医療安全管理の遵守状況、メディカルスタッフを含む医療チームにおける協調性、論文業績などが評価の対象となる。

5. 後期臨床研修修了後の進路

後期臨床研修修了後、東京女子医科大学に就職を希望する者は、教授・基幹分野長と相談し、定員枠の範囲内で助教として採用可能である。また、教授・基幹分野長と協議のもと、関連病院内科医長、他大学内科スタッフ、都内企業の産業医となることも可能である。

6. 学位

研究論文が掲載された後、教授・基幹分野長との協議のもと、医学博士の学位の申請が可能である。臨床大学院生は博士課程の修了時に医学博士の学位が授与される。

7. 専門医

日本内科学会内科専門医、日本専門医機構内分泌代謝科・糖尿病領域専門医、日本甲状腺学会専門医、甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医、日本動脈硬化学会専門医、日本高血圧学会高血圧専門医、妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダー資格、日本抗加齢医学会専門医、日本医師会認定産業医が在籍し、その指導の下での取得が可能である。

8. 問い合わせ先

医局事務・内線29645、E-mailアドレス：ikyoku.aq@twmu.ac.jp

医局長：関 康史

162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科

TEL：03-3353-8111

FAX：03-5269-7617

ホームページ：<https://www.twmu.ac.jp/TWMU/Medicine/RinshoKouza/021/home.html>